



堀越 道男 議員

質問  
年間80万人も来る計画に  
根拠があるのか

答弁  
国道294号線の車の交通量や商圏の  
規模から妥当な計画である

堀越議員の  
質問動画



議員

道の駅管理計画によると常総道の駅には、来客数、年80万人が20年間続くという根拠はあるのか。  
アグリサイエンスバレー推進チームマネージャー  
指定管理予定者を募集するための基礎資料であり、具体的な検証はしていないが、交通量については調査を行い、国道294号線は24時間で交通量2万5千台であると算出した。

副市長

市を取り巻く商圏の規模や他市町村の実績から検証しており、妥当な数値となっている。

議員

年間80万人、一日2千人という数字はコンサルが国交省のデータを使い、立ち寄り率も高い数値を選んだ机上の数字である。筑西市の道の駅計画書によると、場所の選定について、道の駅が競合する国道294号線はやめて、競合のない国道50号バイパス線にしたことが書かれている。リスクを考えず、良いところ取りのコンサルタンの押し付け計画であり、80万人が来ることは理解できない。

副市長

道の駅ができれば何もかもうまくいく考えのようだが、器は立派だが中身がないことにならないか。  
地域資源の磨き上げが優先という重要性は十分認識している。常総観光づくり事業に取り組み、今後は、地域ビジネスの創出、指定管理予定者との連携による地場産品のブランド化や地域資源の発掘をしていく。

議員

街づくりの専門家が言っていたが、街づくりには、その地域の歴史性、ストーリー性、何よりも地域のオリジナルが必要と言っていたが、当市の道の駅にオリジナルティはあるのか。

副市長

ご指摘の点は大変重要と考えており、常総観光地域づくり事業でどう具現化させるかを行政、地域、指定管理予定者のプロの視点で、将来性のある街づくりをしていく。

【その他の質問】

★国民健康保険制度について  
★介護保険制度について



風野 芳之 議員

質問  
アグリサイエンスバレー事業  
の進捗状況について

答弁  
2023年3月オープンに向けて  
順調に進んでいる

風野議員の  
質問動画



議員

企業用地の売却も一部決定し、施設の建設も開始したが、造成工事及びライフラインの進捗状況は予定どおりか。

副市長

(株)ムロオが業務を進めており、残りの立地ゾーンの状況についても、計画どおりに整備が進んでいくと組合から報告を受けている。  
アグリサイエンスバレー推進チームマネージャー  
上下水道、電気についても造成工事に合わせ整備を行っている。  
エリア内の江連用水は、用水路・排水路をボックス化して歩道の下に埋める工事を行っている。

議員

当初の目的である税收効果、雇用効果について問う。

副市長

企業立地ゾーン約20ヘクタールの企業誘致が完了すると、固定資産税だけで約2億円の税收が見込まれ、雇用については、都市エリアで約1500人、農地エリアでは約300人弱を見込んでいる。  
アグリサイエンスバレー推進チームマネージャー  
土地については、企業立地が整

議員

土地区画整理組合から7千平米の土地が無償提供されるとの説明だが、道の駅及び民間集客施設に限定したのはなぜか。また、所有権登記は常総市になるのか。

副市長

事業費を捻出すべき保留地の面積を確保した上で、道路用地である道の駅用地の一部を公共減歩として組合で創出したものであり、官民連携事業であることから、市の負担を減らすために提案され、地権者は常総市になる。

議員

圏央道も4車線工事が開始され、数あるインターチェンジの中でも5本の指に入ると思うくらいの自慢の民間施設を含めたこの構想が、税金の垂れ流しにならないことが一番と考えるがどうか。

市長

10年、20年後につなぐためにも、人口減少を切り抜け、税收を稼ぐ努力をしていく。そのためのアグリサイエンスバレー構想である。